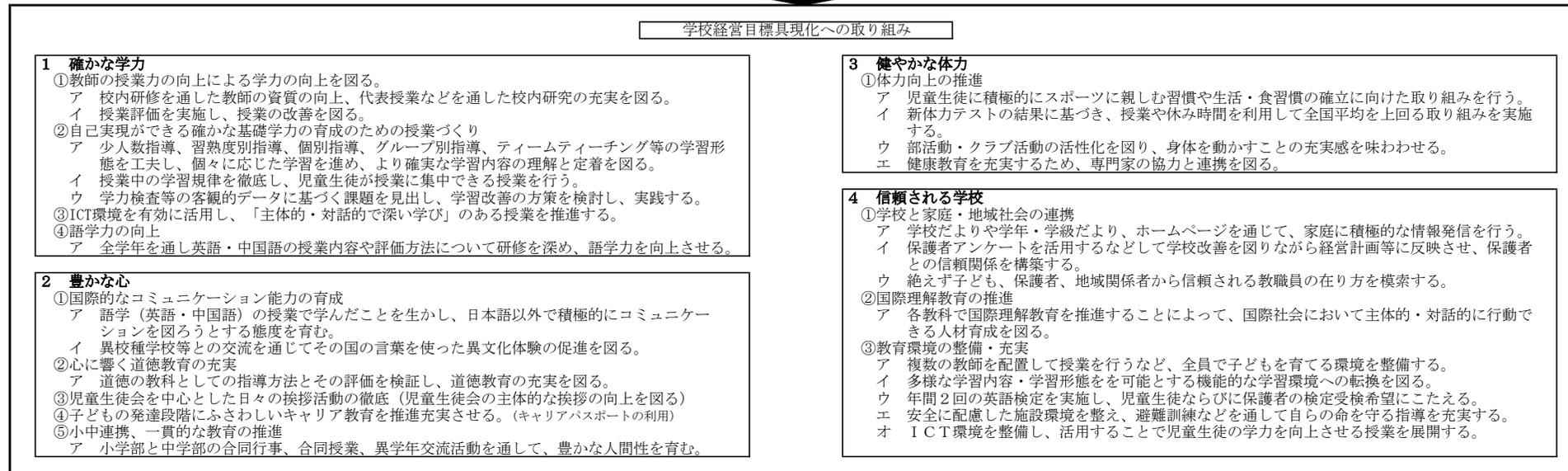


# 令和5年度 広州日本人学校学校経営グランドデザイン



**1 確かな学力**

①教師の授業力の向上による学力の向上を図る。  
 ア 校内研修を通じた教師の資質の向上、代表授業などを通じた校内研究の充実を図る。  
 イ 授業評価を実施し、授業の改善を図る。

②自己実現ができる確かな基礎学力の育成のための授業づくり  
 ア 少人数指導、習熟度別指導、個別指導、グループ別指導、ティームティーチング等の学習形態を工夫し、個々に応じた学習を進め、より確実な学習内容の理解と定着を図る。  
 イ 授業中の学習規律を徹底し、児童生徒が授業に集中できる授業を行う。  
 ウ 学力検査等の客観的データに基づく課題を見出し、学習改善の方策を検討し、実践する。

③ICT環境を有効に活用し、「主体的・対話的で深い学び」のある授業を推進する。

④語学力の向上  
 ア 全学年を通し英語・中国語の授業内容や評価方法について研修を深め、語学力を向上させる。

**2 豊かな心**

①国際的なコミュニケーション能力の育成  
 ア 語学(英語・中国語)の授業で学んだことを生かし、日本語以外で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育む。  
 イ 異校種学校等との交流を通じてその国の言葉を使った異文化体験の促進を図る。

②心に響く道徳教育の充実  
 ア 道徳の教科としての指導方法とその評価を検証し、道徳教育の充実を図る。

③児童生徒会を中心とした日々の挨拶活動の徹底(児童生徒会の主体的な挨拶の向上を図る)

④子どもの発達段階にふさわしいキャリア教育を推進充実させる。(キャリアパスポートの利用)

⑤小中連携、一貫的な教育の推進  
 ア 小学部と中学部の合同行事、合同授業、異学年交流活動を通して、豊かな人間性を育む。

**3 健やかな体力**

①体力向上の推進  
 ア 児童生徒に積極的にスポーツに親しむ習慣や生活・食習慣の確立に向けた取り組みを行う。  
 イ 新体力テストの結果に基づき、授業や休み時間を利用して全国平均を上回る取り組みを実施する。  
 ウ 部活動・クラブ活動の活性化を図り、身体を動かすことの充実感を味わわせる。  
 エ 健康教育を充実するため、専門家の協力と連携を図る。

**4 信頼される学校**

①学校と家庭・地域社会の連携  
 ア 学校だよりや学年・学級だより、ホームページを通じて、家庭に積極的な情報発信を行う。  
 イ 保護者アンケートを活用するなどして学校改善を図りながら経営計画等に反映させ、保護者との信頼関係を構築する。  
 ウ 絶えず子ども、保護者、地域関係者から信頼される教職員の在り方を模索する。

②国際理解教育の推進  
 ア 各教科で国際理解教育を推進することによって、国際社会において主体的・対話的に行動できる人材育成を図る。

③教育環境の整備・充実  
 ア 複数の教師を配置して授業を行うなど、全員で子どもを育てる環境を整備する。  
 イ 多様な学習内容・学習形態を可能とする機能的な学習環境への転換を図る。  
 ウ 年間2回の英語検定を実施し、児童生徒ならびに保護者の検定受検希望にこたえる。  
 エ 安全に配慮した施設環境を整え、避難訓練などを通して自らの命を守る指導を充実する。  
 オ ICT環境を整備し、活用することで児童生徒の学力を向上させる授業を展開する。